

令和4年度

学校評価の概要

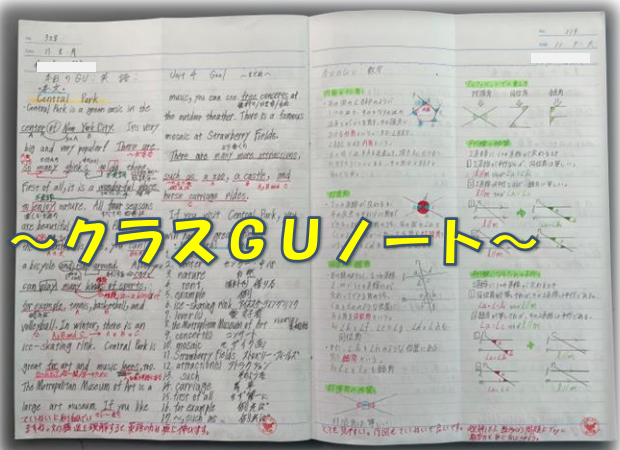


山梨市立山梨南中学校

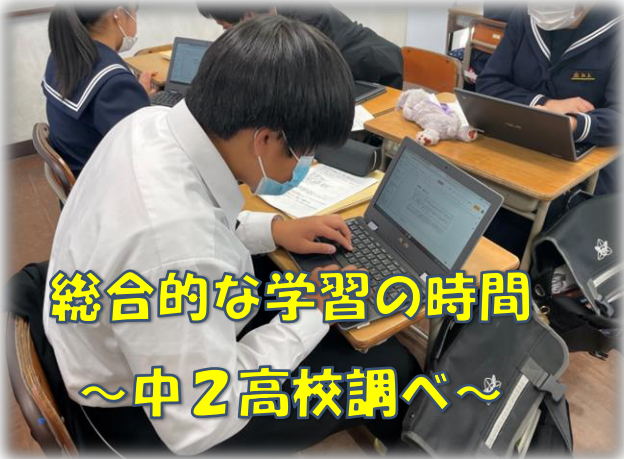
自学 R. G. の時間のようす



その日の学習を振り返る



~クラスGUノート~



総合的な学習の時間

~中2高校調べ~



発表会に向けて

スライドを作成

令和4年度学校評価の概要

山梨南中学校では日常の教育活動を振り返り、今後の教育活動に活かしていくために、学校評価を行っています。保護者の皆様には、評価のアンケートへのご協力ありがとうございました。結果の概要をお知らせいたします。なお、昨年度との比較になります。一概に比較はできないわけですが、よろしくお願いたします。

1. 評価値の比較

「保護者アンケート（１）「生きる力」の育成の１」を例にしますと
集計表の上の適合度 *令和3年度 3.31 令和4年度 3.14の数字が評価値になります。

（１）「生きる力」の育成

1、生徒・教職員が一体となり、「より良い山梨南中学校」を目指し取り組む姿勢が感じられる。

適合度 *評価値 令和3年度 3.31 令和4年度 3.14

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	計
令和3年度	129	178	19	4	8	0	330
	38%	53%	6%	1%	2%	0%	100%
令和4年度	55	174	10	5	6	0	250
	22%	69%	4%	2%	3%	0%	100%
令和3年	91%		7%				
令和4年	91%		6%				

※ %=小数点第一位以下四捨五入

評価値とは、「そう思う」を4点、「だいたいそう思う」を3点、「あまりそう思わない」を2点、「そう思わない」を1点に点数化します。各評価項目に該当する人数をその項目の数値に掛けた数の合計に評価した人数で割って出した値です。令和3年度の評価値は次の計算をして出しています。

$$(4点 \times 129人 + 3点 \times 178人 + 2点 \times 19人 + 1点 \times 4人) \div (129 + 178 + 19 + 4) = 3.31 \text{ (小数点第3位以下四捨五入)}$$

回答者全員が「そう思う」と回答すると、評価値は4に、逆に「そう思わない」に回答すると1になります。したがって、中間値2.50以上は全体としてプラス評価、2.50未満はマイナス評価傾向にあることになります。

全体平均評価値の比較

	保護者	生徒	教職員
令和3年度	3.11	3.42	3.53
令和4年度	2.98	3.36	3.48

平均評価値を見ますと、令和3年度に比べ、令和4年度は、数値が少しずつではありますが、落ちていきます。保護者・生徒・教職員、全て中間値を大きく超えたプラス評価ですが、項目によってはまだまだマイナス評価傾向にあるので改善が必要と考えます。

2. 肯定的評価の比較

「そう思う」「だいたいそう思う」という『肯定的評価』が、「50%未満」、「50%～70%未満」、「70%～80%未満」「80%以上」の項目を調べてみますと、次の表のようになりました。

肯定的評価の割合	保護者（19項目）		生徒（18項目）		教職員（20項目）	
	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度
50%未満	0	0	0	0	0	0
50%以上70%未満	2	3	1	1	0	0
70%以上80%未満	8	9	1	0	0	0
80%以上	9	7	16	17	20	20

※（ ）内の項目数は学校評価の質問項目数です。

肯定的評価の割合では今年度、保護者の50%以上70%未満が1ポイント、70%以上80%未満が1ポイント増え、80%以上が2ポイント減りました。全体的に見ますと、保護者・生徒・教職員とも肯定的評価は多少増加していますが、大きな変化はないと考えます。

3. 保護者の評価について ※（令和3年度→令和4年度）

(1) 評価値の高い項目

②子供たちは、地域において交通ルールの遵守、あいさつの励行言葉づかい等社会的ルールやマナーを意識して守っている。

評価値（令和3年度 3.32 → 令和4年度 3.25） 肯定的評価（3 92.6% → 4 93.1%）

④生徒会活動は、生徒たちの主体的な活動が行われている。

評価値（令和3年度 3.29 → 令和4年度 3.19） 肯定的評価（3 85.5% → 4 92.5%）

①生徒・教職員が一体となり「より良い山梨南中学校」を目指し取り組む姿勢が感じられる。

評価値（令和3年度 3.31 → 令和4年度 3.14） 肯定的評価（3 90.8% → 4 93.9%）

③我が子には、授業や部活など学校の教育活動の中で楽しみや生きがいになっている活動がある。

評価値（令和3年度 3.31 → 令和4年度 3.13） 肯定的評価（3 87.9% → 4 84.8%）

⑥学校から出される各種たよりや通信等で、学校の様子が良く理解できている。

評価値（令和3年度 3.22 → 令和4年度 3.10） 肯定的評価（3 91.4% → 4 88.4%）

これらの項目に関しては、評価値、肯定的評価が高い値を示していますが、昨年度に比べて下がっている項目もあります。気を抜かず教育活動を進めていきたいと考えます。

(2) 評価値の低い項目

①我が家は、日頃から家族で大地震などの自然災害が起きた場合の対応を確認している。

評価値（令和3年度 2.76 → 令和4年度 2.73） 肯定的評価（3 63.7% → 4 65.1%）

②我が子は、悩みや困ったことについて、教職員に相談できる。

評価値（令和3年度 2.84 → 令和4年度 2.74） 肯定的評価（3 65.6% → 4 66.1%）

③学校の授業は、我が子にとって楽しく魅力ある授業になっている。

評価値（令和3年度 2.97 → 令和4年度 2.85） 肯定的評価（3 76.6% → 4 76.8%）

④我が子は、人の話を聞いてよく考え、自分の考えを話したり、書いたりしている。

評価値（令和3年度 2.94 → 令和4年度 2.87） 肯定的評価（3 73.1% → 4 74.8%）

⑤我が子は、自分の将来に夢や希望を持ち、目標に向かって努力している。

評価値（令和3年度 3.02 → 令和4年度 2.88） 肯定的評価（3 73.7% → 4 69.4%）

平均評価値を見ますと、令和3年度に比べ、令和4年度は、数値が少しずつではありますが、落ちていきます。保護者・生徒・教職員、全て中間値を大きく超えたプラス評価ですが、項目によってはまだまだマイナス評価傾向にあるので改善が必要と考えます。

後に示します帯グラフにおいて、右端の比較欄では、保護者の令和3年度の評価値を、令和2年度の評価値と比較しますと、項目ごとの評価値で0.06ポイント以上、上がった△印の付いた項目が1つ（昨年は7つ）、0.06ポイント以上下がった▼印のついた項目はありませんでした。

帯グラフの生徒の平均評価値を見ますと、令和2年度より0.06ポイント以上、上がった項目が6つ（昨年は9つ）、0.06ポイント以上下がった項目が2つ（昨年は1つ）ありました。

最も低い『肯定的評価』の項目は

「我が家では、日頃から家族で大地震などの自然災害が起きた場合の対応を確認している」です。肯定的評価は63.7% 評価値でも最も低く2.76で、昨年と比較すると少し上がりました。関連する生徒の評価項目として「自分は、日頃から大地震などの自然災害が起きた場合どうするのかシミュレーションしている」では、昨年度よりも上がっていますが、64.1%で、やはり評価値で最も低く2.81という結果でした。

この項目につきましては、我が国で相次ぐ自然災害を受け、本年度は初めて水害を想定した避難訓練を行ったり、自治体主催のシェイクアウト訓練に参加したりして、学校でも避難訓練の工夫や防災教育の充実に努めているところです。それに加え、子供たち自身やご家庭でも自然災害が発生した場合、日頃から対応等を想定し家族で確認しておくなど、防災について意識して生活していくことが大切だと考えています。また、関連する教職員の評価項目「安全教育を計画的に実施し、生徒の危機管理意識の向上に努めてきた」では『肯定的評価』が96.4%ということで、教師としては安全教育（防災教育も含め）について取り組んでいるという結果が出ています。しかし、まだまだ浸透しておらず、子どもたちに対して、不十分のために、肯定的評価の差が大きく開いてしまったと考えます。私たち教師も引き続き子供たちの危機管理意識の向上を目指し、安全教育（防災教育）の充実に努めていきたいと強く考えます。

次に肯定的評価が2番目に低い項目は、「我が子は悩みや困ったことについて、教職員に相談できる」で、令和2年度66.0%→令和3年度65.6% 評価値2.85→2.84でした。

関連で生徒の項目「先生たちは必要がある時、親身になって相談にのってくれる」では、令和2年度91.3%→令和3年度96.3% 評価値3.52→3.62 でした。

数値を見ますと、保護者は0.01ポイント下がり、生徒は0.1ポイント上がっています。生徒をみると昨年度より上昇していますが、思春期を迎え自我が確立していく中学生には、今まで以上に気軽に相談できる人が身近にいることが大切ですので、さらに相談体制の充実に努めていきたいと思えます。

幸いにも、本校にはスクールカウンセラー（臨床心理士：工藤先生）が、週2回（水）（木）、勤務しています。（時間は10:00～17:00の間）生徒だけでなく保護者からのご相談にも応じていただいています。

※⑤にあります「学校の授業は、我が子にとって楽しく魅力ある授業になっている」の項目につきましては、一昨年度、最も下がった項目でした。

今年度その項目に関しましては

評価値（令和2年度 2.97 → 令和3年度 2.97） 肯定的評価（2 79.5% → 3 76.6%）という結果でした。評価値は変わらず、肯定的評価で2.9%の下降となり、まだ平均値3.00を下回っています。学校の基本は授業にあります。その授業を子どもたちにとって魅力ある、そして楽しみなものではなくてはなりません。今年度からICT 端末を取り入れた授業の実戦も本格的に始まりました。教師自身がもう一度、基本に戻り、今まで以上に子どもたちのために充実した、わかる授業・楽しい授業づくりに励み取り組むよう努めていきたいと考えています。

評価値の低い5項目につきましては、まだ、3.00（平均値）を下回っている状況であり、引き続き教育活動の充実に努めていきたいと考えます。

4. 生徒の評価について

(1) 評価値の高い項目

- ①自分にとって授業や部活動など学校の活動において、楽しみややりがいのある活動がある。
評価値（令和2年度 3.66 → 令和3年度 3.76） 肯定的評価（2 93.8% → 3 97.5%）
- ②交通ルールの遵守、挨拶の励行、言葉づかい等、社会的ルールやマナーを意識して守っている。
評価値（令和2年度 3.65 → 令和3年度 3.71） 肯定的評価（2 96.4% → 3 98.2%）
- ③道徳の時間で扱われる内容は、自分の生き方を考える内容のものとなっている。
評価値（令和2年度 3.64 → 令和3年度 3.67） 肯定的評価（2 94.4% → 3 97.2%）
- ④自分たちで考え、自分たちの力で取り組む生徒会活動が進められている。
評価値（令和2年度 3.61 → 令和3年度 3.56） 肯定的評価（2 96.6% → 3 96.9%）
- ⑤本校はいじめや暴力行為がなく、安心して生活できる学校である。
評価値（令和2年度 3.53 → 令和3年度 3.51） 肯定的評価（2 92.4% → 3 89.9%）
- ⑥自分の将来に夢や希望をもち、自立した大人になるために必要となる力をつけるよう努力をしている。
評価値（令和2年度 3.47 → 令和3年度 3.49） 肯定的評価（2 92.7% → 3 94.2%）
- ⑦日頃から校訓や学校教育目標を意識しながら、「よりよい山梨南中学校」を目指して取り組んでいる。
評価値（令和2年度 3.37 → 令和3年度 3.33） 肯定的評価（2 93.5% → 3 95.4%）

これらの7項目の「評価値」は高い項目ですが、気を抜かず教育活動を進めていきたいと考えます。

(2) 評価値の低い項目

- ①自分は日頃から大地震などの自然災害が起きた場合どうするかシミュレーションしている。
評価値（令和2年度 2.89 → 令和3年度 2.81） 肯定的評価（2 68.5% → 3 64.1%）
評価値の3.00を下回った項目が1つありました。一番低い項目は、「自分は日頃から大地震などの自然災害が起きた場合どうするかシミュレーションしている。」でありました。昨年度より0.08ポイント下がっていて、平均値に達していません、保護者の欄にも書かせていただきましたが、引き続き防災教育の充実にも努めていきたいと考えています。

5. 自由記述について

今年度は以下の3項目について改善、指導強化をさせていただきました。

- ① 新型コロナウイルス感染防止対策に関すること。
 - ② 登下校時の交通安全に関すること。
 - ③ 教師の言葉づかいや指導（教科指導、生徒指導、部活動指導）に関すること。
- ① の新型コロナウイルス感染防止対策に関しては、今年度も生徒の健康上の安心・安全を第一に考えながら、感染症予防対策を行ってきました。コロナ渦の学校生活も3年目となり、「With コロナ」を見据え、昨年度はできなかった学年ごとの合唱発表会や、強歩大会に代わる試みとして、学年別持久走大会も行いました。少しずつではありますが、コロナ前の生活に近づけるよう努力しているところです。コロナ対策での様々な制限に関しては、多くの考え方があり、生徒・保護者・教職員の全員が納得できる方策は難しいところです。来年度には、新型コロナウイルスが「感染症法上の5類」に引き下げられることが決まっていますので、より制限の少ない学校生活が送れると思われまます。
 - ② についてですが、本校は、全校生徒の約8割が自転車で登校していて、交通安全教育に関しては毎年力を入れて取り組んでいるところではありますが、実際多くの接触事故や転倒事故が起きており、救急車を要請するような事案もありました。今年度に数回行った生徒の登下校指導では、PTA 生活指導部の保護者の方々だけでなく、警察署の方々もその都度、数多く参加していただきました。そのため、生徒の交通安全への意識をさらに高めることができました。今後は、小学校や地域の方々とも連携を取りながら、更なる交通安全指導に努めて参ります。

- ③ の件については、今年度も朝の打ち合わせや職員会議などで「信頼される教職員であるために遵守すべき事柄」、「体罰根絶に向けて」について話をしてきました。公務員として守らなければならない事案について、その時その時に教職員に対しまして早急に必要な指導を行ってきました。今後も教師の意識改革や指導力の向上のために研修会等を実施し、改善に努めていきたいと思っております。なお、教職員の言動について個別の指摘があった時には、事実確認をした上で管理職等、職務上の上司から指導しています。

今年度の自由記述には、要望・意見・感想等の保護者から多くの回答があり、貴重なご意見等をいただきました。感謝の気持ちや励ましをいただいた一方、課題点のご指摘やご批判等もありました。

項目につきましては

感謝等が5件、 要望・意見等が19件 内訳は、コロナ関連4、職員関連5、生徒指導（交通安全）2件、部活動2件、学習6件でした。このことについては真摯に受け止め、学校側で改善・検討をしていきますのでご承知おきください。貴重な要望・意見・感想等、本当にありがとうございました。

6. 学校評価について

保護者アンケートでの信頼される学校づくりに関する項目で「学校評価は、学校改善・信頼される学校づくりに効果的な活用がされている。」については、令和3年度 77.4% → 令和4年度 73.0% と少し評価値が下がりました。

学校の教育活動は生徒や保護者の信頼の上に成り立つものです。今後も、教職員が各自の分掌（仕事の役割）に関係ある項目について、アンケートの結果や自由記述の内容をしっかりと分析し、学校で改善すべきこと、学校が保護者の皆さんと協力、連携し改善すること、さらに地域や市当局、教育関係機関と連携しながら改善すること、また、改善の内容によって、長期間かけて改善していくこと、中期的、短期的に改善すること、早期に改善することなど、改善の内容と方法を整理し、必要性の高いものから順に改善していきます。

これからも、学校評価のアンケートを活用し、さらに改善を図り、保護者の信頼と協力を得ながら、「信頼される学校」を目指して、よりよい教育活動を進め、生徒の成長を促していきたいと思っております。

学校評価アンケートへの協力や貴重なご意見をいただき、本当にありがとうございました。